
第 83 期 (2005 年度) 事業報告書

技術と社会部門：部門長 渡邊辰郎 他 30 名，運営委員会：新旧合同 1 回，拡大総務委員会 5 回開催

委員会活動

1. 研究交流委員会

*部門講演会を 2005 年 12 月 10 日日本設計工学会と共催で開催する。

*年次大会にて OS・WS・教育フォーラムを企画・実施をする。

2. 研究組織委員会

*部門活性化に向けて，新たな研究会の発足を検討した。

研究会例：「JABEE 教育研究会」，「循環型・分散型社会研究会」

「日本の技術革新に影響を与えた人物および社会的事象」と題した研究を開始することを検討した。

来年度の研究活動に向け，上記研究課題を科研費・公募研究に応募した。

3. 表彰委員会

部門賞（功績賞）1 件，一般表彰（優秀講演論文表彰）1 件を表彰した。

4. ホームページ委員会

当委員会は，今年度（83 期）より広報委員会から独立して発足した

1. 委員会の開催

委員会の開催は，メール審議によって 3 回実施した。

第 1 回（4/5 発信）のメール審議では，委員の委嘱と基本方針を検討した。

第 2 回（5/20 発信）のメール審議では，活動内容を検討した。

第 3 回（7/3 発信）のメール審議では，Web ページ運営規定案を検討した。

2. 具体的な活動内容

(1) 委員会の基本方針の確認

委員会の方針は，費用負担を伴わずに，より迅速で有用な情報を提供する。

(2) ホームページの内容更新

部門組織・運営などの各ページを更新，特に，行事については迅速な更新に努めた。定期的に，リンク先の確認を実施した。トップページなどの全般的なスタイルとデザインの更新は学会の方針待ちの状態である。部門登録者用のページを開設した。

(3) ホームページ運用規定案の作成

運用規定を作成し，総務委員会にて了承されたが，ホームページでの公開は総務委員会の方針で控えている。

5. 広報委員会

ニュースレター No. 17 の 2 月発行予定

その他の活動

1. 日本機械学会「歴史的遺産」指定基準案を策定した。

2. 専門委員会として歴史的遺産委員会設置を決めた。

3. イブニングセミナー 11 回開催をした。

〔所属研究会〕

A-TS 20-07 人機能支援工学研究会

主査：木内 学 開催：0 回

A-TS 20-12 ブルネル研究会（その人と技術史）

主査：佐藤建吉 開催：2 回

A-TS 20-13 伝統技術保存策についての検討—宮大工・西陣織を例として—研究会

主査：大川時夫 開催：7 回